

熊本県鉱工業動向(平成29年3月分)

概況

| | 前月比の動き | 参 考 | |
|----|--------|---------|---------|
| | | 九州 (速報) | 全国 (速報) |
| 生産 | 低下 | 低下 | 低下 |
| 出荷 | 低下 | 上昇 | 低下 |
| 在庫 | 上昇 | 上昇 | 上昇 |

業種別の主な動き

| | 主な上昇・低下業種(及び主な品目) | 参 考 | |
|----|---|------------------------------------|---------------------------------|
| | | 九州 (速報) | 全国 (速報) |
| 生産 | 上昇 電気機械工業(※) 輸送機械工業(※) | 化学・石油石炭製品工業 (プラスチック等) | パルプ・紙・紙加工品工業 (印刷用紙(塗工)等) |
| | 低下 電子部品・デバイス工業(集積回路) はん用・生産用機械工業(産業用ロボット) | 電子部品・デバイス工業 (半導体集積回路(CCD・その他)等) | はん用・生産用・業務用機械工業 (半導体製造装置等) |
| 出荷 | 上昇 輸送機械工業(※) 電気機械工業(※) | はん用・生産用・業務用機械工業 (産業用ロボット等) | 輸送機械工業 (普通乗用車等) |
| | 低下 電子部品・デバイス工業(集積回路) はん用・生産用機械工業(※) | 電子部品・デバイス工業 (半導体集積回路(CCD・その他)等) | はん用・生産用・業務用機械工業 (半導体製造装置等) |
| 在庫 | 上昇 ※(※) 輸送機械工業(※) | はん用・生産用・業務用機械工業 (医療機器・医療用品等) | はん用・生産用・業務用機械工業 (シヨベル系掘削機械等) |
| | 低下 食料品・たばこ工業(※) 鉄鋼業(※) | その他工業 (工業用ゴム製品等) | 鉄鋼業 (フェロニッケル等) |

表中の「※」は、統計の秘密保持の立場から、特に内容を秘匿としたものです。

総括 (指数値:平成22年=100)

[熊本県]

生産指数(季節調整済)は140.5で、前月比▲5.9%となり、2ヶ月連続の低下であった。16業種中9業種が上昇、7業種が低下であった。

出荷指数(季節調整済)は131.8で、前月比▲4.1%となり、3ヶ月連続の低下であった。16業種中11業種が上昇、5業種が低下であった。

在庫指数(季節調整済)は97.0で、前月比+4.6%となり、4ヶ月連続の上昇であった。15業種中6業種が上昇、9業種が低下であった。

(参考)

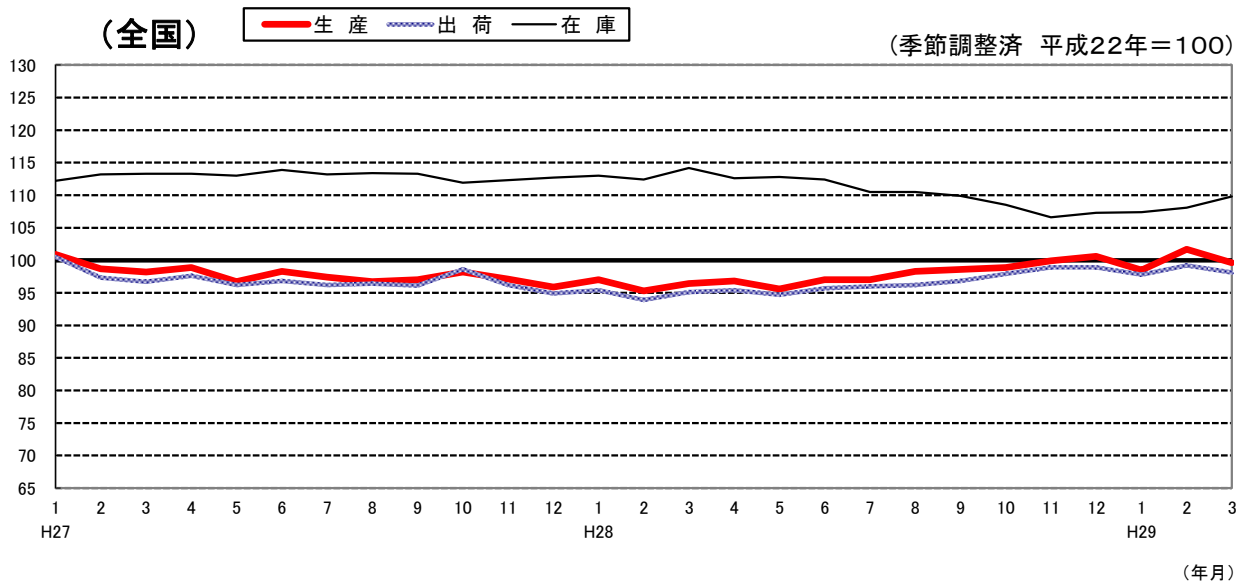
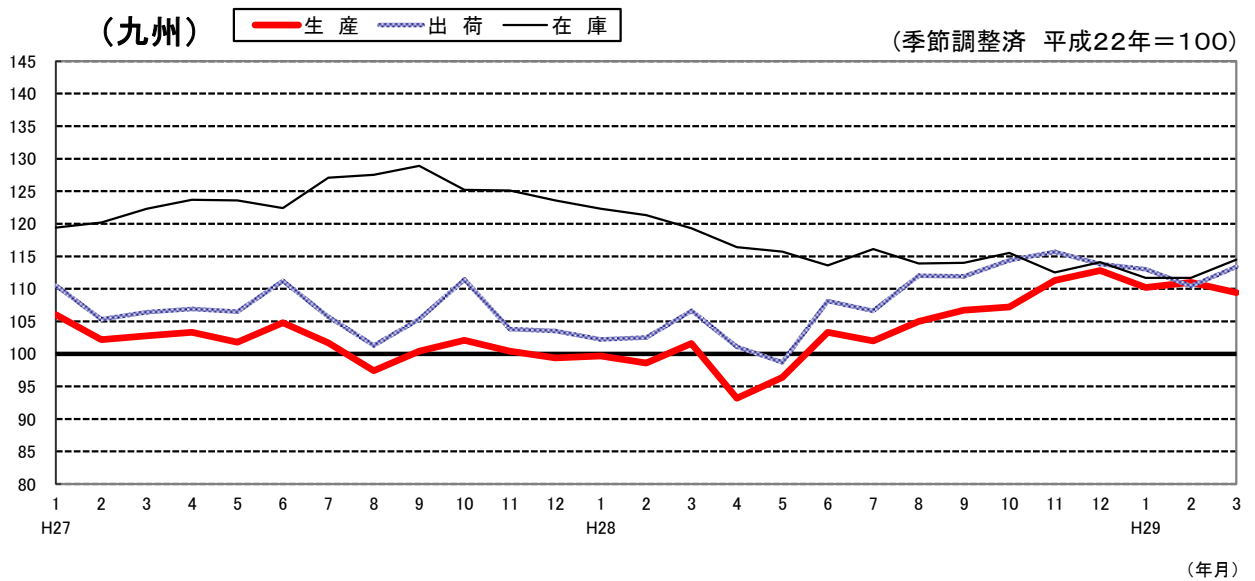
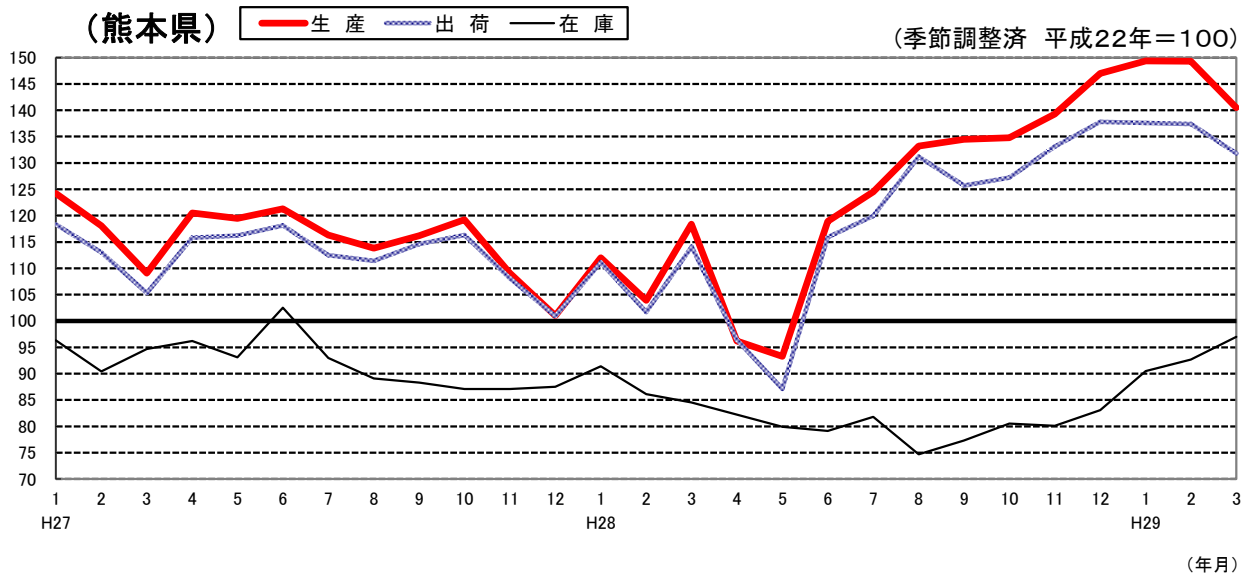
[経済産業省九州経済産業局]「九州地域の鉱工業動向(平成29年3月速報)」より転載

平成29年3月の鉱工業生産指数(季節調整済)は109.4となり、前月比が▲1.4%と2か月ぶりに低下し、前年同月比は+7.7%と8か月連続の上昇となった。

[経済産業省]「平成29年3月の鉱工業(生産・出荷・在庫)指数の動向(速報)」より転載

今月は、生産、出荷は低下、在庫、在庫率は上昇であった。製造工業生産予測調査によると、4月は上昇、5月は低下を予測している。総じてみれば、生産は持ち直しの動きがみられる。

熊本県・九州・全国の鋳工業指数の推移



※ 最終月は速報値です。

1. 概況

－生産は2ヶ月連続の低下－

平成29年3月の鉱工業指数[速報値]

(平成22年=100)

| | | 季節調整済指数 | 前月比(%) | 原指数 | 前年同月比(%) |
|-----|----|---------|--------|-------|----------|
| | | | | | |
| 熊本県 | 生産 | 140.5 | ▲ 5.9 | 154.3 | 18.7 |
| | 出荷 | 131.8 | ▲ 4.1 | 147.8 | 15.6 |
| | 在庫 | 97.0 | 4.6 | 89.9 | 14.8 |
| 九州 | 生産 | 109.4 | ▲ 1.4 | 117.2 | 7.7 |
| | 出荷 | 113.4 | 2.7 | 123.6 | 6.4 |
| | 在庫 | 114.5 | 2.5 | 110.5 | ▲ 4.0 |
| 全国 | 生産 | 99.6 | ▲ 2.1 | 111.8 | 3.3 |
| | 出荷 | 98.1 | ▲ 1.1 | 113.6 | 3.2 |
| | 在庫 | 109.8 | 1.6 | 102.0 | ▲ 3.9 |

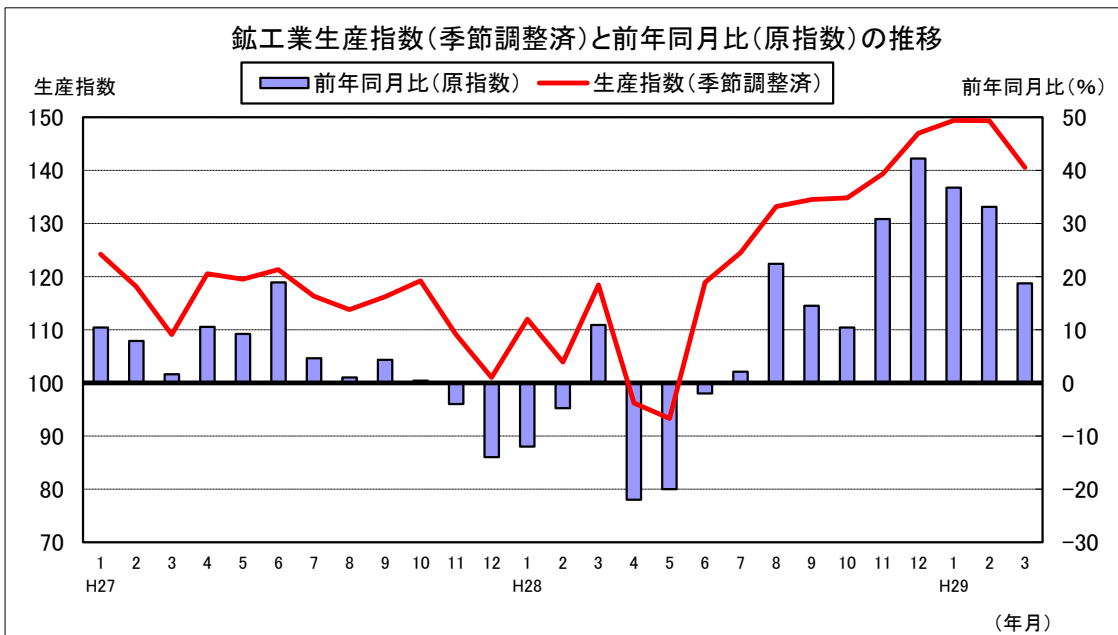
※「前月比」、「前年同月比」は上昇率を百分比(%)で表しています。

※生産・出荷の季節調整法はX-12-ARIMA(季節、曜日・祝祭日調整)、在庫指数はX-12-ARIMAの中のX-11デフォルトによります。

【生産】 生産指数(季節調整済)は 140.5 で、前月比 ▲5.9%となり、2ヶ月連続の低下であった。16業種中、電気機械工業や輸送機械工業などの9業種が上昇したものの、電子部品・デバイス工業やはん用・生産用機械工業などの7業種が低下した。

【出荷】 出荷指数(季節調整済)は 131.8 で、前月比 ▲4.1%となり、3ヶ月連続の低下であった。16業種中、輸送機械工業や電気機械工業などの11業種が上昇したものの、電子部品・デバイス工業やはん用・生産用機械工業などの5業種が低下した。

【在庫】 在庫指数(季節調整済)は 97.0 で、前月比 +4.6%となり、4ヶ月連続の上昇であった。15業種中、食料品・たばこ工業や鉄鋼業などの9業種が低下したものの、輸送機械工業などの6業種が上昇した。



2. 業種別動向

【生産】

| | 主な上昇・低下業種 | ウェイト | 前月比(%) | 前年同月比(%) | 上昇・低下に寄与した品目 |
|--------|-------------|--------|--------|----------|--------------|
| 上 昇 | 電気機械工業 | 804.7 | 35.3 | 59.9 | ※ |
| | 輸送機械工業 | 1293.4 | 7.8 | 23.8 | ※ |
| | 金属製品工業 | 426.2 | 6.7 | 0.5 | 建築用金属製品 |
| 低 下 | 電子部品・デバイス工業 | 1823.9 | ▲ 15.2 | 47.9 | 集積回路 |
| | はん用・生産用機械工業 | 1325.0 | ▲ 7.7 | 13.4 | 産業用ロボット |
| | 化学工業 | 868.7 | ▲ 9.8 | ▲ 1.8 | ※ |

【出荷】

| | 主な上昇・低下業種 | ウェイト | 前月比(%) | 前年同月比(%) | 上昇・低下に寄与した品目 |
|--------|-------------|--------|--------|----------|--------------|
| 上 昇 | 輸送機械工業 | 1847.4 | 8.8 | 24.5 | ※ |
| | 電気機械工業 | 539.6 | 40.9 | 67.9 | ※ |
| | 非鉄金属工業 | 180.1 | 18.8 | 24.4 | ※ |
| 低 下 | 電子部品・デバイス工業 | 1737.9 | ▲ 21.4 | 40.2 | 集積回路 |
| | はん用・生産用機械工業 | 1108.0 | ▲ 4.3 | 4.8 | ※ |
| | 食料品・たばこ工業 | 1667.7 | ▲ 2.0 | ▲ 8.0 | 飲料 |

【在庫】

| | 主な上昇・低下業種 | ウェイト | 前月比(%) | 前年同月比(%) | 上昇・低下に寄与した品目 |
|--------|-----------|--------|--------|----------|--------------|
| 上 昇 | ※ | ※ | ※ | ※ | ※ |
| | 輸送機械工業 | 386.8 | 20.7 | 81.3 | ※ |
| | 金属製品工業 | 672.4 | 6.4 | 11.2 | 建築用金属製品 |
| 低 下 | 食料品・たばこ工業 | 1733.1 | ▲ 14.1 | 35.7 | ※ |
| | 鉄鋼業 | 291.4 | ▲ 8.8 | ▲ 11.4 | ※ |
| | 化学工業 | 1224.1 | ▲ 2.5 | 21.9 | ※ |

表中の「※」は、統計の秘密保持の立場から、特に内容を秘匿としたものです。

3. 特殊分類別動向（財別の動き）

| 財 別 | 項 目 | 季節調整済指数 | 前月比(%) | 原 指 数 | 前年同月比(%) |
|-------|-----|---------|--------|-------|----------|
| | | | | | |
| 最終需要財 | 生 産 | 113.8 | 5.9 | 134.0 | 7.7 |
| | 出 荷 | 109.6 | 6.3 | 130.3 | 4.8 |
| | 在 庫 | 99.8 | 10.6 | 87.4 | 12.2 |
| 生 産 財 | 生 産 | 174.7 | ▲ 10.8 | 178.1 | 30.5 |
| | 出 荷 | 158.1 | ▲ 9.5 | 167.1 | 26.7 |
| | 在 庫 | 93.8 | ▲ 7.3 | 92.6 | 17.8 |

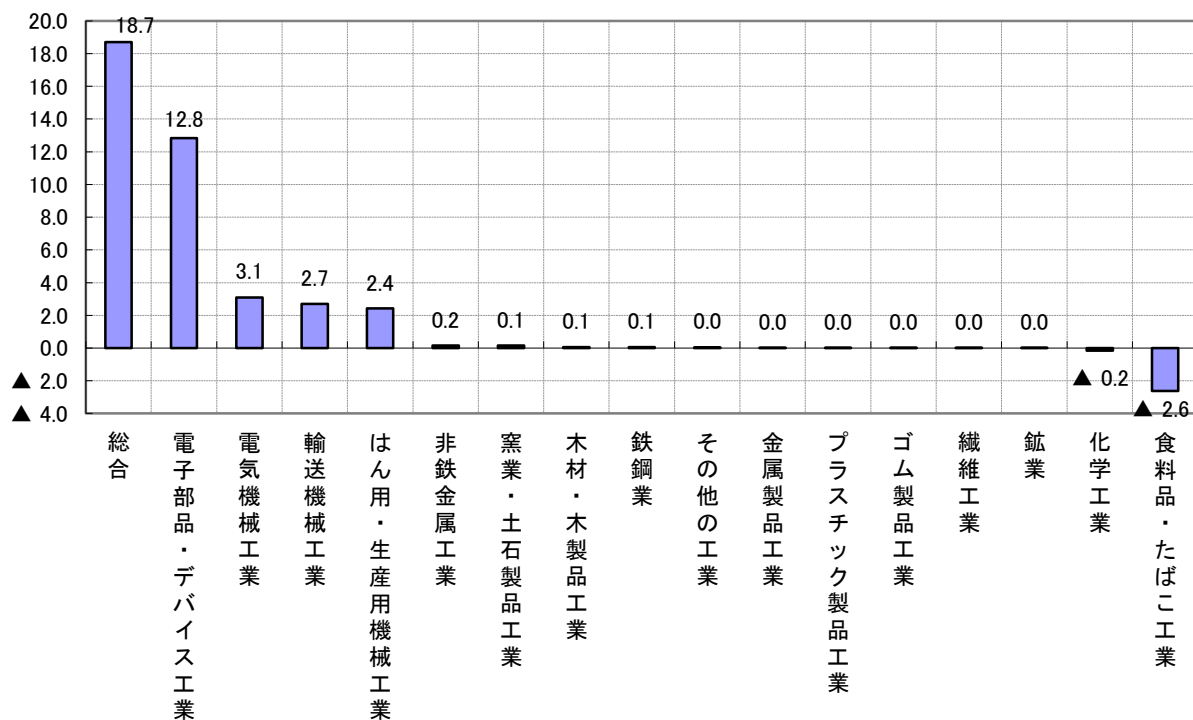
4. 特定品目の動向（集積回路の動き）

| 類 別 | 項 目 | 季節調整済指数 | 前月比(%) | 原 指 数 | 前年同月比(%) |
|------|-----|---------|--------|-------|----------|
| | | | | | |
| 金額指数 | 生 産 | 389.8 | ▲ 13.9 | 359.9 | 53.3 |
| | 出 荷 | 334.4 | ▲ 14.6 | 311.7 | 44.5 |
| | 在 庫 | 1.0 | 150.0 | 1.0 | 11.1 |

| 類 別 | 項 目 | 季節調整済指数 | 前月比(%) | 原 指 数 | 前年同月比(%) |
|------|-----|---------|--------|-------|----------|
| | | | | | |
| 数量指数 | 生 産 | 614.5 | ▲ 9.8 | 569.9 | 36.8 |
| | 出 荷 | 513.5 | ▲ 14.9 | 488.8 | 32.2 |
| | 在 庫 | 43.7 | 56.6 | 29.8 | ▲ 48.6 |

※ 総合指数や業種別指数には金額指数を採用しています。

5. 業種別寄与度（原指数・生産前年同月比）



※ 寄与度は、各業種の変化が、総合指数をどれだけ変化させたかを表します。ウェイトが反映されますので、業種によっては上昇幅が大きくても、ウェイトが非常に小さければ全体に対する貢献度は低くなる場合があります。また、ほとんどの業種が低下してもウェイトの大きい業種が上昇すれば、全体ではプラスになることがあります。